

# 六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校

平成 25 年 6 月 25 日 (火) No. 6

E-mail [isobesho@itoigawa.ne.jp](mailto:isobesho@itoigawa.ne.jp)

URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



自分の言葉で伝えよう みんな笑顔になろう 元気な体をつくろう

## おもしろさ、便利さのうらに潜む“危うさ”

校長 高橋 雅史

4～5年ほども前になるでしょうか、出張の帰りに電車に乗った時のことです。4人がけのボックス席に1人で座っていたのですが、そこへ仲の良さそうな高校生の女の子3人が、「すいません」と一声かけて座わってきました。本を読んでいたのですが、にぎやかになるのを覚悟し、その本を閉じました。

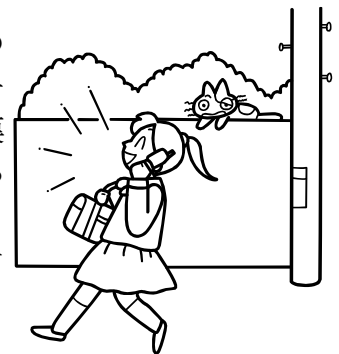
ところが、しばらく経ってもすこしものにぎやかになりませんでした。なぜなら、彼女たち3人が3人とも携帯電話でメールやゲームを始めたからです。その、あまりにも素早く鮮やかな指の動きに感心し、下車する時にも寸暇を惜しんでドアに向かって歩きながら操作している姿に驚きました。



しかし、人ごとながら少し心配にもなりました。下車するまでの30分あまりの間、3人は一言も会話を交わさなかったからです。目の前に友達がいるのにしていることがメールやゲームでは、「大丈夫かな?」と思ってしまいました。

メールはとても便利な機能でありコミュニケーションの手段の一つとして有効な手立てかもしれませんが、実際に会って目の前にいる人と話をしたり、せめて電話で声を聞きながら話したりすることに勝るものではないと思うのですが……。

私たち大人だけでなく、子どもたちを取り巻く機械や機器の発達には驚くべきものがあります。パソコンはもとより、スマートフォン、携帯電話、ゲーム機……。当然かもしれませんが、漢字や計算の仕方を覚えたり読書をしたりするよりも、いろいろなゲームに登場するキャラクターの難解な名前を覚えてゲームをしたりメールでやりとりしたりの方が面白いようです。そして、多くの子どもたちや若者たちは膨大な時間をゲームやメールに費やしてしまっています。



さて、この面白さや便利さの裏に、その代償となるようなマイナス要因や危うさはないのでしょうか?ゲームはどんなにおもしろくとも所詮は非現実の世界であり、所詮は機械と自分1人とのやりとりです。メールは通信手段としては便利かもしれませんが、会話で得られる相手との心の交流はできません。そして、そのことが原因となる人間関係のトラブルも少なくないようです。“面白さ”や“便利さ”の裏側には大きな“危うさ”が潜んでる気がしてなりません。子どもたちや若者たちがそのことを理解した上で使っているのならよいのですが、現実には分かっているようには見えないのが気がかりです。



# 日記・作文の紹介



前月号で紹介できなかった1年生の運動会のめあてと反省を紹介します。

## くぼた しおん

### 【がんばりたいこと】

めだかりれーでてをよくふってはしります。

### 【めあての反省】

めだかりれーではてをよくふってはしりました。きつそうらんではおんがくにあわせてがんばりました。おうちのひとにほめられました。うれしかったです。

## うちやま まいろ

### 【がんばりたいこと】

たまいれでは、かごにむかってたくさんたまをいれます。

### 【めあての反省】

かごにむかってたくさんたまをいれられました。おうえんはおおきいこえをだせました。らいねんは50めーとるそうをがんばりたいです。

## あおた とらき

### 【がんばりたいこと】

たまいれでは、かごにむかってたまをいれます。

### 【めあての反省】

かごをよくみてできました。50めえとるそうではまえをみてはしれました。うんどうかいはとてものしかったです。らいねんはたまいれでかごをみてがんばりたいです。

## きじま はるか

### 【がんばりたいこと】

たまいれではちゃんとかごをみてなげます。

### 【めあての反省】

たまいれではちゃんとかごをみていれたとおもいます。めだかりれえでは、ちゃんとまえをみてはしられたとおもいます。らいねんはもつとはやくはしれるようにがんばります。

## 地引き網体験の 作文から

じびきあみ

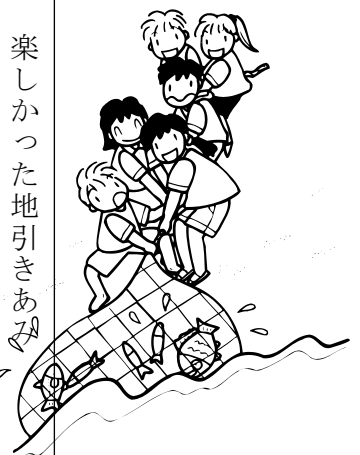
三年 筒石 来喜

ぼくが今日楽しかったことが三つあります。  
一つめは、じびきあみのひもをひっぱって魚を見るのがたのしかったです。  
二つめは、ごはんを食べるとおいしかったことです。めぎすといかを食べました。二回おかわりをしました。二回めはしようゆをつけて食べました。  
三つめは、かにつりです。一匹きもつれなかったけれど、かにはいっぱい見つけました。大きいのがいたし、小さいのもいっぱい見つけました。ぼくたちの班のけっかは、二一いになれてとってもうれしかったです。  
今日は、かにつりやさかなのじびきあみでとつてもたのしかったです。

楽しかった地引きあみ

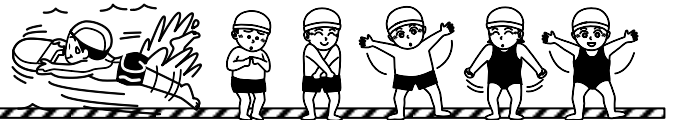
四年 池亀 凜々華

六月二十一日に地引きあみがありました。まず、あみの説明をしてもらいました。説明が終わってからあみを引きました。あみを引くのはつかれました。だけど楽しかったです。  
あみを引き終わったら、お昼を食べるじゅんびをしました。私は、魚をさばきました。ひらめのうろこをとるのは、たいへんでした。魚が焼けたので食べました。えびを十五ひきぐらい食べました。楽しかったです。  
その次にかにつりをしました。つれそうだったけど、ぜんぜんつれませんでした。最後に一匹つれました。とても楽しかったです。  
来年はもつともつといっぱいつれるといいです。



# 7月の主な行事予定

- 2 (火) 全校ことばの力テスト, 校舎改築記念集合写真撮影  
3 (水) 校舎改築記念航空写真撮影  
4 (木) 児童集会 (5限, 七夕集会に祖父母招待)  
8 (月) 全校朝会            9 (火) 全校算数テスト  
10 (水) 児童朝会 (生活リズムについて…保健委員会)  
11 (木) 子ども貯金日, 委員会活動  
12 (金) 授業参観日, 学級懇談会, PTA懇親会  
16 (火) 4・5年生自然体験教室 (~17日, 国立妙高青少年自然の家)  
18 (木) 音楽朝会, 地区児童会  
19 (金) 防犯教室  
22 (月) 3限給食後放課  
24 (水) 1学期終業式  
25 (木) 夏季休業開始 (~8月28日まで), いそべ塾 (25日, 26日, 29日)  
          能生中学校区学校保健委員会  
30 (火) 糸魚川市学童親善水泳大会



## 生活改善フォーラムのご案内

今年度、能生地域学校保健委員会では「食育」について取り組んでいます。関連事業として磯部小学校では家族で食育について学習しようという主旨で、下記のような講演会を実施します。楽しくお話を聞きながら、食に関する知識も得られるとてもよい機会になると思います。保護者の皆様、祖父母の皆様を問わず、たくさんの皆様から、ご参加いただけると有りがたいと思います。



**期 日**    7月12日(金)13:50~14:45    \*学習参観日にあたります  
**場 所**    磯部小学校 多目的スペース  
**講 師**    牛木 功介 様(糸魚川中学校栄養教諭・栄養管理士)  
**演 題**

「ホントの能(脳)力を出す食事」  
~今、からだをつくっている という自覚を持つ。  
これがなければ何もかわらない。~

### 講師 牛木 功介 様のご紹介

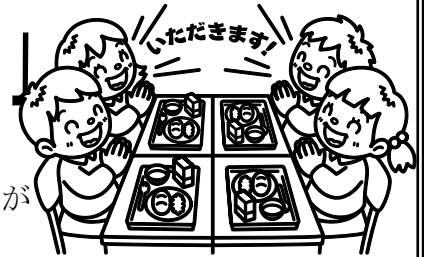
糸魚川中学校で栄養教諭・栄養管理士としてお勤めされています。お仕事のかたわら、学習会講師、男女参画協議会講師、食育月刊誌や新潟日報社へのコラムの執筆、アスリートへの食事指導など活動の幅を広げ全国を飛び回っていらっしゃいます。ご自身もスノーボードの1級ライセンス、オフロードバイクのA級ライセンスを持つ現役の競技者でいらっしゃいます。

# 6月の磯部小学校

6月11日(火), 素晴らしい快晴に恵まれて「地引き網体験活動」が実施されました。漁協青年部の皆様の全面的なご支援とご協力のおかげで, “地引き網” “魚をさばく” “かに釣り” など素晴らしい体験をすることができました。



## 校長室から「いただきます」



「いただきます」のあいさつには, 他の動植物の生命を“いただいて(=もらって)いる”ことに感謝する意味があるそうです。私たち人間は自分の力で栄養を作り出すことはできません。米や野菜などの植物が作り出したり, 魚や肉などが蓄積したりした栄養分をもらって食べることで自分の生命を維持しています。いわば動植物の生命を受け継いでいることとなります。そのことを, 心に刻む言葉が「いただきます」のあいさつの大きな意味だそうです。

しかし, 忙しい日常ではそのことはついつい忘れがちです。ましてや, 我が家などは町中にあり畑を作るスペースもないため, 人からもらった食材を除けば, 野菜も肉類, 魚類も多くはスーパーマーケット産です。ラップの野菜や切り身の魚, パック詰めの肉では, 他の動植物の「生命をいただいている」という思いにはなかなか至りません。レトルトやインスタント食品などではなおさらのことです。

しかし, 先日, 本当に久しぶりに「生命をいただく」という思いを新たにする経験をさせてもらいました。筒石漁協青年部の皆さんが準備し運営してくださった「地引き網体験活動」です。地引き網にかかったり漁師さんが朝捕ってきてくれたりした目の前の魚を, 子どもたちが自分でさばき, そして焼いて食べることで「生命をいただく」という大事な心を育てることができる重要な行事だと思います。

もちろん, 力を入れずに地引き網が簡単に引けたり, 準備を全部してもらって食べるだけだったりしては, 「生命をいただく」という感謝の心は育たないの言うまでもありません。子どもたちに網を引かせ, 魚のさばき方を一生懸命に教えてくださった漁協青年部の皆様に心より感謝いたします。